子育て世代に向けた取り組み

「日本の母子手帳を変えよう」プロジェクト

hakuhodo i+d



本プロジェクトは、現代の複雑で難解な育児環境を改善し、お父さんもお母さんも参加できる母子手帳をつくることを目指して、2010年にスタートしました。今、育児環境は急速に変化し、母子の健康を守るとともに、「絆」を育むものとしての大きな役割を果たしてきた母子手帳の役割が変わり始めています。2011年にリ

リースしたプロトタイプ版の"親子健康手帳"は、各地域のニーズにあわせた内容にカスタマイズできる母子手帳として、全国に広がっています。2016年3月時点で178の自治体で採用されています。



働くママのネットワークを拡げ ママの力を日本の未来のシアワセにつなげる

博報堂リーママプロジェクト







働くママ (サラリーマンママ=リーママ) の力を社会に還元し、未来のシアワセにつなげていきたい、ひいては日本全体をも元気にしたいという想いのもと、博報堂の社内ママメンバーが始めた活動です。本プロジェクトでは、ランチタイムを活用した業種を超えた働くママ同士の交流会「ランチケーション」を推進することで、現在約700人の働くママのネットワークを形成しています。2015

年度には、東京都や京都市などの自治体、企業と合同でランチケーションイベントを開催。また、2015年9月から12月までに計3回、1,000社を超える会員を持つ経営法友会において、ワーク・ライフ・バランスのセミナーを実施しました。



支持を得て拡大し続ける「妊婦手帳」「育児手帳」

博報堂DYメディアパートナーズ



「妊婦手帳」「育児手帳」は、医師や専門家が監修した妊娠・育児 関連情報を配信し、妊娠期・育児期の不安を解消するスマート フォンアプリです。「妊婦手帳」は2013年に、「育児手帳」は

2014年に提供を開始しました。 病院の先生とママをつなぐサービス として両アプリで累計40万DL、病 院をはじめ、全国約350施設と提 携しています。妊娠期・育児期を通 して活躍するアプリです。



働くママとパパの気持ちをラクにする ウェブメディア「camily (キャミリー)」

mediba

(博報堂DYメディアパートナーズグループ)







medibaでは、共働きの家庭向けに、仕事と育児の両立を目指すウェブメディア「camily」を提供しています。自身の仕事復帰の状況・お子さまの年齢・居住地域を指定すると、働くママのイン

タビューや、復帰する際の準備や復帰した後の情報、時短テクニックなど、条件にマッチする記事が選定されます。名前の由来は、「(ca) reer + fa (mily) + re (l) ief」。仕事(career) をしている育児まっただ中の家庭(family) を、罪悪感から解放したい・安心させたい(relief)という想いから、2016年1月よりスタートしました。



市民目線の使いやすさを重視した、 全国自治体の子育て行政サービス 公式ガイドブック

大広





全国自治体の子育でに関する行政サービス情報を発信するウェブサイト「子育でタウン」を運営するアスコエパートナーズと協働し、自治体公式の子育でガイドブックを2014年から制作しています。官民連携事業として、これまで大阪市・神戸市・千葉市・仙台市をはじめとする10自治体で累計30万部発行。ウェブサイト(PC・アプリ)と連動した紙媒体として、自治体で母子健康手帳などと一

2015年度は、9自治体 で15万部発行しました。

緒に配布されています。



子育てを絵本で応援「マミバーサリー」

博報堂







子どもが1歳になるまでの子育ては、慌ただしい毎日の中でママが人間的に成長できる体験がつまった時期です。そのことを多くの人に知っていただき、子育てを応援したいとの想いから、子どもの1歳の誕生日を「マミバーサリー」と名付け、2人の女性社員

が2012年に絵本を出版しました。 乳幼児を抱えて心のケアが必要なママたちからも支持されています。 2016年4月時点で、約13,000冊 を発行しています。



子育て世代に向けた取り組み

父親の子育てを活性化する NPO法人「イクメンクラブ」

博報堂











博報堂社員の間でイクメンクラブが誕生したのは2006年です。「イクメン」という言葉をつくり、社会に 浸透させることで父親の子育てを活性化していこうという挑戦でした。2011年にNPO法人となり、父親 が得意な"わんぱく子育て"に主眼をおき、森や海でのイクメンキャンプを計20回以上開催。2015年 度は三重県尾鷲市とともに、地方での豊かな子育てを体験するバスツアーを企画し、40人が参加しまし た。また、神奈川県南足柄市では植樹、間伐から森の流しそうめんまで林業家とともに活動しています。



3世代が楽しめる番組コンテンツ開発 「ふるさと再生 日本の昔ばなし」

博報堂







博報堂monom

博報堂アイ・スタジオ







2012年4月より、テレビ東京系列・BSジャパンで「ふるさと再生 日本の昔ばなし」の放送を開始しました。2014年には厚生労働 省社会保障審議会特別推薦「児童福祉文化賞」を受賞。また、日

本民間放送連盟推薦「青少年に見ても らいたい番組」にも4年連続で選出され ました。今も昔も変わらない「いのち」 「くらし」「人生」の大切さを、この番組 を通じて伝えていきたいと考えています。



「Pechat (ペチャット)」は、ぬいぐるみにつけるボタン型おしゃ

親子の新しいコミュニケーションツール「Pechat」

べりスピーカーです。専用のスマ ホアプリを操作することで、ぬい ぐるみのふりをして子どもとお しゃべりすることができます。育 児を楽しくアシストする次世代玩 具の提案です。



健康への取り組み

誰もがAEDを使える世の中に向けて楽しく学べるブラウザゲーム 「心止村湯けむり事件簿」公開

AEDは急速に普及したものの、AEDによる電気ショックが実施されたのは僅か4.0% (2014年 総務省 消防庁 救急蘇生統計調べ)。そこで一般社団法人日本循環器学会、「減らせ突然死プロジェクト」 実行委 員会、大広がユニットを組み、主に無関心層をターゲットに、救命処置が誰にでもできることを目的として AEDサスペンスドラマゲームを制作しました。2016年2月に公開し、3日間で10万PVを記録しました。



沖縄県健康長寿プロジェクト「歩く一ぽん」

博報堂





日本は世界で最も長寿国。「ロコモ チャレンジ!」は運動器の障害 で立つ・歩く・座るといった移動機能が衰えることを予防するた めの運動体です。2010年から主体である公益社団法人日本整 形外科学会の活動をサポートし、最期まで自立した暮らしを送る 人をひとりでも増やすために活動しています。

乳幼児からの予防歯科を実践する教育型の小児歯科 「KIDS DENTAL PARK」を全国に

KIDS DENTAL PARK (博報堂DYグループ)

いつまでも自分の足で歩くために

「ロコモ チャレンジ!」







ムシ歯を治すためだけに通院するという従来のスタイルではなく ムシ歯の予防習慣を身につけて、健康な口腔環境を維持するとい う発想の小児歯科です。独自の研修システムによる歯科医及びス タッフの教育、空間デザイン、コンサルティング業務を行い、2016 年3月末時点で全国に10箇所に広がっています。

博報堂DYメディアパートナーズ





「歩く一ぽん」は、歩数をポイント化して商品と交換できるように した歩数計アプリです。2014年度から沖縄県にて、沖縄ファミ リーマートのご協力のもと実施しています。2015年度は6月に認 知向上キャンペーンを実施し、ダウンロード数は10万を突破しま した。

新しい生活習慣の創造へ 「健康生活認証」

諾を有償で付与しています。

博報堂





「生活習慣病リスクを低減する生活に資する食事・食品」を対象 とした「健康生活認証」事業を2015年3月に スタートしました。国立循環器病研究センター内の 審査委員会の審査に基づき、認証マークの使用許

